

JAいけだ CREATION

今月号の表紙写真は、2月15、16日に行われた冬期講座で、妹ワタリの金澤氏を講師にお招きし「池田町農産物を使用した料理講習会」を開催した時の様子です。（写真中央が講師・金澤氏）
詳細は2～3ページをご覧ください。



CONTENTS

- * 第1弾 冬期講座を開催！
- * 21NEWS アラカルト
- * シリーズ 協同組合と報徳
- * デイリーフォト
- * JAグループ通信
- * 金融共済課より
- * 畜産部通信
- * 未来人
- * 今月の1枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2017.

3
MARCH

No.087

第1弾 冬期講座

冬期講座を開催!

2月15日～16日の2日間で、組合員・組合員家族を対象に、
第1弾「冬期講座」を田園ホール調理室・JA本所会議室に
おいて開催致しました。

この冬期講座は組合員の皆様に農業経営や専門分野などの
知識及び協同精神を学ぶ研修の場として開催致しました。

料理講習会の様子



料理講習会の様子

15日は田園ホール調理室にて、
野菜ソムリエの資格を持つ㈱ワ
タリ札幌営業所金澤敬子さんに
よる池田町の農産物を使用した
料理講習会では、①ゆい根とヤー
コンサラダ、②肉じゃが品種別
食べ比べ（品種ごとに作りシエ
ア）、③根張星の焼きとろろで
トッピングパーティー、④オニ
オンステップを4班に分け調理実
習後参加者全員で美味しいいた
だきました。毎食後は会議室に
場所を変え、参加者による店頭
PR体験・「池田の魅力ってな
んだろう」というテーマで意見
交換会を実施いたしました。

料理講習会

事業承継対策

16日午前の部では㈱オーレン
ス総合経営・税理士法人オーレ
ンス事務所、主任・松田隆史さ
んより、事業承継対策について
講演していただきました。事業
承継はいつか必ず訪れる問題で
あり、十分な事前計画を持つて
対応する必要があります。そん
な事業承継を円滑に進めるため
には、「経営資源やリスク、資
産や負債、経営理念などを後継
者と共有することがとても重要
になつてく」こと話されました。
また承継方法についても①贈与、
②売買、③賃貸借と3つのケー
スについて、税金の話を中心に
説明していただきました。参加
された組合員様からは、贈与税
や相続税、生前贈与などについ
て数多くの質問が出ておりまし
た。



㈱オーレンス総合経営・税理士法人
オーレンス事務所、主任 松田隆史さん



十勝池田町フェアでの店頭販売を再現



スマートスーツ

午後の部1講座目は(株)スマートサポート・(株)リープス、代表取締役・鈴木善人さんより、スマートスーツについて説明していただきました。スマートスーツを装着することで、重たいものは持った時にかかる腰への負担を軽減させ、腰痛発症のリスクを低減することができるとのことです。重たいものを軽く持てるといったパワードスーツとは違い、軽量化（身体にかかる負担と疲労の軽減、体力の維持・増進）を目的に作製され、安価で動きやすく、着脱も簡単で、多様な作業に対応できる点が評価され、農業や工業の分野で需要が増えてきていると話されました。講座では実際に組合員様にスマートスーツを着てもらい、重たいものを持つてもうう体験をしてもらいました。

土壤の基礎

今回、講演していただきました講師の方々、参加された組合員の皆様、ありがとうございました。2月28日に開催された「第2弾冬期講座」の詳細については次号掲載いたします。

最後に

力豊かな土づくり」と題して、土壤の基礎について講演していただきました。池田の土壤は泥炭土と低地土が分布しており、火山灰に由来する「十勝の土」とは異なるため、施肥の仕方も十勝の考え方とは変わってくると話されました。次に土壤分析票の見方について、特に分析項目の「CEC・リン酸吸収係数」について解説してもらいました。CEO=土壤の保肥力、リン酸吸収係数=土壤のリン酸固定力のことです。この2つの数値が施肥設計をする上で重要なことがあります。「土壤は劇的に変わることはない。施肥設計は5年後10年後を考えて取り組んでほしい。」と話されました。



青年部

2農協 スポーツ交流会

1月26日に十勝池田、高島農協青年部の交流会が行われました。以前は研修会としても行われていましたが、今回は去年と同じくスポーツによる交流会となりました。今年は高島農協が開催ということで、北部コミセンでミニバレーを行いました。池田、高島による混合チームが6つ作られ、トーナメント戦で優勝を争いました。両部員共に声を出しながら積極的にプレイしていました。特に我が池田農協青年部部長の樋口さんはチームの皆さんに声をかけてとても盛り上げていたのが印象的でした。終了後は懇親会が行われ、仕事のことや日常のことなどの会話で盛り上がり、両部員間の交流がより進んだのではないかと思いました。

今回の交流会では、普段あまり関わる機会が少ない高島の青年部員の方とミニバレーや懇親会を通して交流することができ、とても有意義なものになったのではないかと思いました。冬場による運動不足もあり少しハードでしたがとても楽しかったです。

(記事・青年部員 多田隆弥)



青年部

銀河線ブロック冬季研修会



の高野好久税理士です。

まず「税金の基礎知識について」ということで、私のように税についてあまり知らない人向けの内容から始まりました。経営主となると所得税額を自分で計算して申告しなければなりません。申告の方法には白色申告と青色申告があります。青色申告は白色申告と比べて申告手続きの手間は増えますが、複式簿記であれば65万円、簡易簿記であれば10万円の特別控除を受ける事ができます。また赤字の場合は3年間繰り越して計算できるそうです。

次に「農業所得の税務における現状について」ということで、最近増えてきている太陽光発電の余剰売電の話や、経営移譲後の青年部員の体験を基に家族の専従者給与はいくらくらいが妥当なのかといった話をしていました。

今回の研修を終えて、開催地が陸別という事もあって参加人数が少なかったのですが、税金の話と聞いて難しそうと感じる方がいるなら、今回のような研修会に参加いただけたらと思いました。

(記事・青年部員 神谷英祐)

管 理 課

事業計画役員協議開催 ～役員による平成29年度 事業計画検討行われる～

2月21日（火）に本所事務所大会議室において、平成29年度事業計画役員協議が開催されました。

本検討会は、各部で策定された事業計画が、重点項目や行動計画（事業評価制度における課題）に沿って策定されているか、役員（理事・監事）により検討される会議です。

冒頭、大塚常務より、平成29年度の部門別事業利益設定額及び、第1回目の事業利益の集約結果が報告され、その後、営農部から順に各部門の部・課長から事業計画概要、更に、詳細について説明を行い、役員による検討が行われました。役員の皆様からは、重点項目や災害復旧への予算配分に妥当性があるか、また、重点的な対策の内容についても質問が出され、真剣な検討が行われました。これらの検討の結果、修正が必要な事業計画については、修正後、第12回理事会（2月開末催）で理事会決議されます。

その後、理事会決議された平成29年度事業計画については、今後開催されます、地区懇談会において組合員の皆様にご説明、第28回通常総会にて承認頂き、新年度より組合員の皆様並びに役職員が一丸となって、平成29年度事業計画達成に向け、実践して行くこととなります。

（記事・管理部長 花本 敦）

協議の様子



道知事感謝状を受賞した朝川悟さん



宮 農 課

指導農業士・朝川悟さん 道知事感謝状受賞！

2月16日、農業後継者の育成に尽力されたとして、豊田地区の朝川悟さんに、道知事感謝状が贈られました。

朝川さんは2003年に指導農業士となり、いけど牛の振興や畑の輪作の改良に力を注がれ、昨年の1月には長男・知輝さんへ経営を継承されました。今回の受賞は「高度な農業技術を導入した高生産・低コスト経営の手本となり、地域農業の担い手育成に尽力されたこと。」・「褐毛和牛の育種と肥育を含む飼養管理技術に先駆的に取り組み、いけど牛の地域ブランドの確立に努め、地域農業の振興に多大な貢献をされたこと。」が評価され、道知事感謝状が贈られました。

受賞された朝川さんは、「自分が取り組んできたことが評価され、こういった形で感謝状を頂けるのはうれしい。今後も輪作と土づくりの大切さを若手農業者へ伝えて行きたい。」と話されていました。

（記事・営農部営農課 杉山淳史）

管 理 課

救命救急講習会 を開催

～救命救急知識・ AED操作学ぶ～

J Aでは、病気などで倒れた人を救うために、救命救急に関する正しい知識と技術を学ぶ、救命救急講習会を1



心肺蘇生法の訓練

月17日（火）に、本所会議室で午前と午後の2回実施し、職員30名が参加いたしました。

講習内容は、応急手当の重要性及び、救命処置法の実技として心肺蘇生法とA E D（自動体外式除細動器）の取扱いなど池田消防職員の説明後、トレーニング用マネキンを使い反応の確認から呼吸確認、胸骨圧迫、人口呼吸、A E Dの操作という一連の応急措置方法を学びました。

池田消防署の救急車の出動は、平成28年は341件で平均到着時間は約6分です。突然心臓と呼吸が止まり、救命処置の有無による救命の可能性の差は10%以上、A E Dによる電気ショックが1分遅れると救命効果が7%～10%低下することを知り、参加者は救命技術の必要性を再認識しました。

今後、「万が一の時」は講習会の成果を生かし緊急時の対応に備えられるよう、継続した講習会を計画し、救命救急技術が職員全員の身につく取り組みといたしたいと考えております。

（記事・管理部長 花本 敦）

管 理 課

内 部 研 修



管理課では、28年度の重点項目であります『活力ある職場づくり』の一環と致しまして、今年度は20代男性職員・女性職員を対象とした内部研修を各2回実施致しました。

1回目は7月に女性職員を対象として、日常業務における問題についての意見交換や、5S推進委員の活動報告等について実施し、10月に20代男性職員を対象にコスト管理の意識付けや農協服務心得の再確認等の内容について実施致しました。

また、2月に2回目の研修として、世の中で大きな問題となっている長時間労働に関して、当農協での今後の取組み・改善に向けて各自が抱える問題や対策についての意見交換を行いました。

職員教育の場としては勿論、部門間の情報共有の場、職員が働きやすい職場づくりに向けた意見交換の場として、今後も継続して実施してまいります。

（記事・管理課 高 雄紀）

畜産課

黒毛和種精液組合 道外視察研修

1月18~20日、9名参加のもと茨城県畜産農業協同組合連合会様の関連農場を訪問し、県内ブランド「常陸牛(ひたちぎゅう)」の生産現場を視察してまいりました。

鉾田市にある㈱茨畜連パイロットファームでは、十勝市場にてご購買いただいた池田町産の牛が多数肥育されており、参加者の皆様はかつて大事に育てた子牛との再会を果たしておりました。

1月十勝市場で購買され、到着したばかりの素牛から、出荷を間近に控えた肥育牛まで見学することができ、大変有意義な研修となりました。

今回学んだ事を活かし、今後も肥育牛生産者の皆様、消費者の皆様に喜んでいただけるよう高品質な素牛生産を目指し取り組んでまいります。

(記事・畜産課 米川 武)

(株)茨畜連パイロットファームの皆様との記念撮影



世界の中での 日本の協同組合 の存在

あまり知られていないのかも知れませんが、日本の協同組合は世界から注目され、その仕組みを知ろうと各国から、特にアジア諸国からの訪問が増えています。これは、開発途上国における協同組合育成の取り組みが多くの困難に遭遇し、その原因の一つに欧米型の専門協同組合の導入にあつたのではないかという反省が要因となっています。

世界の農業や漁業の主流は日本のような中小規模の経営が大半を占めています。この中小規模経営を支える協同組合は、専門協同組

合ではなく、日本に在るような総合事業を営む総合協同組合の組織が適していることが明らかになります。北大名誉教授の太田原高昭氏によると「日本は小規模家族経営のままで農業生産力を大幅にアップすることに成功した唯一の国」「わたしたちのJA自己改革」(家の光刊)であり、総合協同組合をバックボーンにしていふといふに強さがあるといいます。



協同組合と報徳
No.30

1/19 フレッシュユミズ



池田町給食センターにて見学を行いました。調理の工程や衛生管理、栄養素を考えた献立など、子供たちのことを想いながら作業をしていました。場所を移し、農産センターにてネバリスターの選果見学と青果物説明会を行いました。

2/1 女性部



農協大会議室にて女性部冬期レクレーションを開催しました。講師にホシナサオリ氏をお招きし、冬期間の運動不足を解消できるストレッチ体操ひめトレを講演して頂きました。

2/20 女性部



農協大会議室にて女性部と農協との懇談会を開催しました。午前中は金融共済課より共済の説明と共に見直し相談会を行い、お昼はジョイライフの試食会、午後から農産センターでネバリスターの選果見学と青果物説明会を行いました。

デイリーフォト

1/16 女性部



農協大会議室にて女性部冬期交流会を開催しました。健康サークルの講師でもある新津有輝子氏をお招きし、椅子に座つてできる簡単な体操やリンパマッサージなどについて講演して頂きました。

1/27 手芸サークル



農協小会議室にて手芸サークルによる例会「エコクラフトの作成」を行いました。手芸サークルは農閑期に月1回程度活動をしています。

2/6・8・9 指導チーム



農協小会議室にて指導チームによる施肥相談会を開催しました。3日間で31名の組合員の皆様に来所していただき、29年度以降の施肥設計について指導・助言を行いました。

JAグループ通信

J A グループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
J A 北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はW E B サイトをご覧ください。

J A 北海道中央会

平成29年1月、北海学園大学経済学部と北海道大学農学部において、学生向け授業の一環として「北海道農業の概要と、それを支える J A グループの役割」について講義を行いました。



「北海道農業が日本の食を支えていることを知り、道民として誇りを持った」「J A グループが農畜産物の安定供給だけでなく、インフラ提供等様々な役割を果たしていると知ることができた」等の感想をいただき、北海道農業・J Aへの理解を深めてもらうことができました。

今後も「サポーター550万人づくり」に向けた情報発信を進めて参ります。

J A 北海道信連



J A バンク北海道では、地域貢献活動の一環として、A E D の寄贈を平成21年度より実施しており、今年度は、J R 各駅に7台、大空町社会福祉協議会に1台の計8台を寄贈しました。

累計寄贈数は、今年度分を含めて、43先65台となり、救命活動や救命講習等に活用されています。

ホ ク レ ン



ホクレンパールライス部では「ゆめぴりかごはん」と「北海道こめ油」に次ぐ米関連商品として、日本食品製造合資会社（札幌市）と共同開発により、1月から「ゆめぴりかの乾燥玄米入りグラノーラ（230g入り）」の発売を開始しました。朝食の新しいメニューとして牛乳や豆乳をかけて食べるのがお勧め。

道内Aコープやホクレンショップ等パールライス取扱店で販売しています。（取り扱いのない店舗もあります）

J A 共済連北海道

「第68回さっぽろ雪まつり」において、平成28年度 J A 共済 全道小・中学生交通安全ポスターコンクールの入賞作品64点を展示しました。

260万人を超える来場者数となった「さっぽろ雪まつり」で、J A 共済連北海道の活動と交通安全への思いを知っていただくことができました。

今後も道内のみならず、全国や海外からの観光客の方々にも交通安全の大切さを伝え、事故防止に繋げていきます。



 JA BANK をご利用のお客さまへ

ATMなどのサービスを 一時休止させていただきます。

いつもJA BANKをご利用いただきありがとうございます。

このたびJA BANKの全国統一電算システムの更改にともない、誠に勝手ながら
ATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。

ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

平成29年
(2017) 3月18日(土)

5月 4日(木祝)/20日(土)

9月16日(土)・17日(日)

平成30年
(2018) 1月 6日(土)・7日(日)・8日(月祝)

休止させていただくサービス



JA BANKのATM

JA BANKのATMを利用した、入金や出金、残高照会、振込・振替など、すべてのサービス



JAネットバンクサービス

パソコン・スマートフォン・携帯電話を利用した、残高照会や振込・振替など、すべてのサービス



コンビニ等のATM

JAキャッシュカードによるセブン銀行、ゆうちょ銀行、その他提携金融機関やコンビニ等のATMを利用したすべてのサービス



デビットカードサービス

デビットカード機能がついたJAキャッシュカードによるJ-Debit加盟店での代金決済



現金のお引き出しはお早めに

休止期間中は現金のお引き出しができませんので、あらかじめ現金をお引き出しあたぐる等のご準備をお願い申しあげます。

本サービス休止期間中にATM等の機器を操作する際は、ご機器を離脱するまではATM等の機器が落ちるため、上記エラリーメッセージが表示される場合があります。詳しくは、JA BANKカード等で確認ください。



JA BANK

ホームページ

<http://www.jabank.org/>

 JA BANK 北海道

金融共済課より

JA共済 低金利時代の強い味方！



建物更生共済

[1型振替払活用プラン]

木・防火造タイプ

10年満期

年利(複利)

0.41%

※建物の構造が耐火造の場合は表面をご覧ください

【ご契約例】 共済期間 10 年、木・防火造、住宅物件、火災共済金額 100 万円、満期共済金額 100 万円

(平成 28 年 7 月現在)

全期前納掛金

959,215 円

一時資金 958,015 円
+ 年払掛金 1,200 円
(120 円 × 10 年)

差額はなんと

40,785 円

10年後

満期共済金

1,000,000 円

【解約返戻金（参考）】

- 満期共済金額 1,000,000 円
- 火災共済金額 1,000,000 円

注) 満期前の解約は元本割れすることがあります。
以下の解約返戻金の推移をご参照ください。

5年満期	【木・防火造】タイプ	
共済年度	共済掛金累計 (単位: 円)	解約返戻金 (最終年は満期金額) (単位: 円)
1年	984,278	968,224
2年	984,398	968,380
3年	984,518	971,586
4年	984,638	978,832
5年	984,758	1,000,000

- 解約の際には、建物の形状、平、延面積、開口部、配置、住居構造等を確認します。
- 手数料の負担金は、坪価額（再販価額）に対して取扱いれます。
- 解約返戻金の負担金額は、各共済年度の末日に解約等を行った結果の金額です。実際の金額は解約等を行った時期により変動しますのでご注意ください。
- 解約返戻金には解約共済者からも未回収の未納年数に対する未回収金を含めて算出しています。
- 1年以内に解約された場合、解約共済の受益割合は最高益共済額の初期となります。年名義は次の満期共済金または一時掛金の受益割合は一時掛金の対象となります。
- この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。
- ご契約の際には、「重要な取扱事項（注意喚起事項）」および「ご契約の仕方（約款）」を必ずご覧ください。

10年満期	【木・防火造】タイプ	
共済年度	共済掛金累計 (単位: 円)	解約返戻金 (最終年は満期金額) (単位: 円)
1年	958,135	940,601
2年	958,255	937,737
3年	958,375	936,313
4年	958,495	937,349
5年	958,615	939,885
6年	958,735	943,951
7年	958,855	949,587
8年	958,975	956,793
9年	959,095	965,609
10年	959,215	1,000,000

お問い合わせは…

JA十勝池田町 本所・池田支所
TEL (015) 572-3131・3132

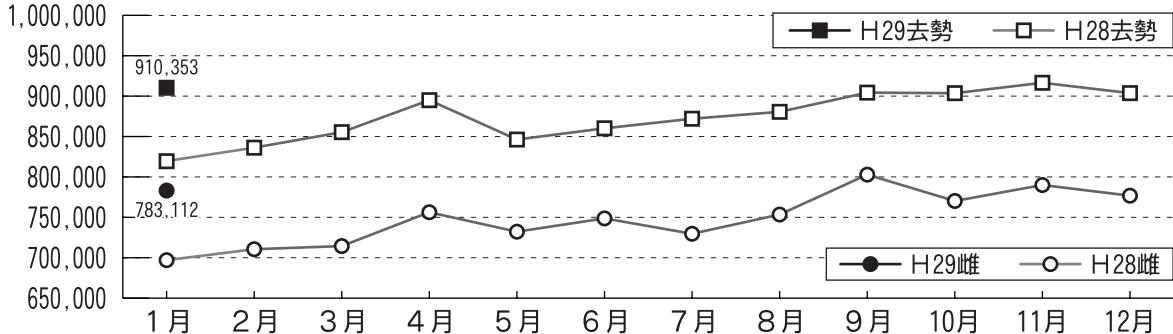
JA共済
16013506020



畜産部通信

畜産部
畜産課

(円) 平成28~29年ホクレン十勝家畜市場黒毛素牛平均価格(十勝)



1月黒毛素牛出荷区分別成績

【金額(円)】

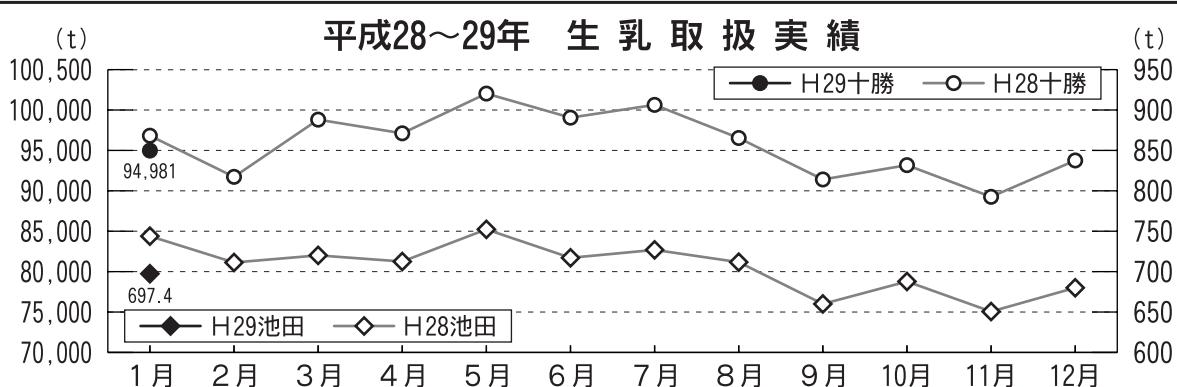
		取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	十勝	和牛素牛	631	910,353
	池田	マニュアル参加牛	376	923,590
	池田	マニュアル認定牛	47	999,023
雌	十勝	和牛素牛	425	783,112
	池田	マニュアル参加牛	266	781,579
	池田	マニュアル認定牛	19	834,953
	十勝	和牛素牛	15	750,960
	池田	マニュアル参加牛	15	769,680
	池田	マニュアル認定牛	0	—

1月ホクレン十勝枝肉市場 【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
14日	黒毛去勢	A-5	2,576
		A-4	2,461
		A-3	2,219
	黒毛メス	A-5	2,666
		A-4	2,426
		A-3	2,295
	F1去勢	B-3	1,351
		B-2	1,250
		B-3	1,490
	F1メス	B-2	1,240



平成28~29年 生乳取扱実績



1月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
10日	乳牛育成	378	588,771
24日	乳牛初妊	614	956,762
25日	乳牛経産	78	565,228

1月十勝中央家畜市場 【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	81,946
F1オス初生	286,598
F1メス初生	180,822
廃用牛	172,161



昭栄地区
市川 浩吉さん
(29歳)

Vol.33

未来人

Mirai Bito

プロフィール

家族は妻・好美さん、長女・結菜ちゃん、次女・紗羅ちゃん、父・法康さん、母・貴子さん、祖父・等さん、祖母・チヨさんの8人家族で畠作・肉牛を営む。

趣味は「農業機械展を見に行くこと。機械に乗つたりするのも好きです。」と話してくれたのは、今年で就農5年目となる市川さん。24歳の時に結婚し、現在は2児の父である。「冬の休みの時期には、外で大好きな雪山をつくり娘と一緒に遊んでいます。」と笑顔を見せる。

小さいころから車や機械が好きだった浩吉さん。士幌高校を卒業した後は自動車整備専門学校に進学し、車整備士の資格を取る。最終的には農家を継ごうと考えていたとのことだが、「自動車関係の仕事をもしたい!」という強い意志もあり、卒業後はすぐに就農をせず、自動車関係の仕事に5年間務めた。トラクターが故障したときは、「自分で直したりします。」と今まで学んできた経験・知識が現在の農業という仕事にも活きている。

天候に左右されることはあります。」「休みがない。」「天候に左右されると苦笑い。」「去年は連続する台風の影響で、牧草の収穫と畠作物の管理作業が重なりとても大変でした。」と振り返る。

就農して大変だったことを聞くと、「いちかわひろよしさん」と名乗る。農業の魅力について、「自分で種から播いて育てていく苦労はあるが、その分収穫できた時の喜びが大きい。サラリーマンと違つて収入が安定していない不安もあるが、1年間の頑張りが報われることもあります。そこが農業の魅力の一つ」と語る。

最後に来年度の意気込みを聞くと、「経営を向上させるために施肥設計について勉強し、施肥量を減らしての収量アップを目指して頑張りたい。」と話してくれました。



理事会の動き

第12回

〈平成29年2月24日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の脱退について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 台風等災害に係る草地復旧対策事業について
- (4) 固定資産の売却について
- (5) 独占禁止法をめぐる今後の対応について
- (6) 共計品の精算について
- (7) 不良債権の処理方法について

★ 議案 ★

- (1) 組合員の出資金持分譲渡並びに新規加入承認願いについて
- (2) 組合員の相続による出資金持分譲渡並びに新規加入承認願いについて
- (3) 北海道農業公社貸付牛事業の実施と転貸について
- (4) 平成28年度決算見通しと剰余金処分方針について
- (5) 職員に対する年度末手当の支給について
- (6) 平成29年度役員報酬額の答申について
- (7) 平成29年度事業計画の設定について
- (8) 平成29年度内部監査計画（案）について
- (9) 平成29年度経営定期点検実施計画（案）について
- (10) 平成29年度個人情報保護計画（案）について
- (11) 地区懇談会の顛末とその対応について
- (12) 理事の組合員勘定取引供給限度額の設定について
- (13) 学経理事候補者の選出について

★ 協議案 ★

- (1) 平成29年度固定資産取得計画（案）について
- (2) 第28回通常総会の開催日程について

今月の一枚



第5回 東部十勝JA職員交流会

2月18日（土）ホテルグランテラス帯広にて、東部十勝JA職員の交流会が行われました。

写真は各JAの特産品が当たる「牛乳早飲みゲーム」の様子です。（写真左が農産課・岡田職員）

みなさんの国民の祝日は1年間で何日あるか知っていますか？ 昨年「山の日」が8月11日に施行され、年間日数が16日となりました。今月は「春分の日」が20日になります。「春分の日」は自然をたたえ、生き物をいつくしむことを趣旨として1948年に国民の祝日として制定されました。ちなみに「春分の日」は太陽が春分点を通過する日と定義されているのです（20日又は21日）。整備や作業時には事故が起らないようお気をつけてください。杉山

編

集

後

記